

令和元年度自己評価結果

あさま幼稚園

1. 本園の教育目標

園児一人ひとりにゆきとどいた保育をおこない「明朗闊達で感性豊かな子ども」を育てること

2. 30年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもが自分で考え、自信を持って動ける子にするための環境設定や関わりをする。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
幼稚園の教育目標と重点目標の周知	A	園の教育目標を園だよりにして載せたり、保護者集会などで園長が説明をし、周知をはかる。
危機管理体制の整備	A	危機管理マニュアルを作成して年に数回、火災・地震・不審者訓練を行っている。
家庭、地域、関係機関への情報発信	A	園だより学級だより、ホームページにて園の様子を伝えている。
教育課程の編成・実施の考え方についての教職員間の共通理解	B	毎年指導計画を見直し、子どもの実態に即した内容にするよう努めている。
発達段階に則した適切な幼児理解・環境	B	各クラスで月・週案を作成、一日の終わりに一人ひとりの保育日誌に記入、子どもの実態を把握し、次に繋げている。
幼稚園と小学校との円滑な連携	B	小学校の先生方の保育参観、近隣の小学校との交流会を通して、幼稚園の様子、小学校の教育内容について理解を深める。
教員の資質向上、研究・研修の充実	A	各種研修や研究会に参加し学んだことを資料にまとめ、職員会等において提供し、全職員が今後の保育に生かしている。月1回の園内研修においてさらなる充実した保育を目指している。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
A	子ども一人ひとりの気持ちを大切に、落ち着いて行動、考える事の出来るようにみとりと内面理解にも、常に心がけている。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
健康な心と体	ウイルスに打ち勝つための衛生面と、食事面への配慮
豊かな発想力	活動の展開を自ら行えるようにするための環境構成

6. 2年度、重点的に取り組む目標・計画

保育者の専門性への向上と、子どもが自ら考え行動できるようになるための関わり方

7. 学校関係者の評価

園児一人ひとりに対して良い保育について考え、実行されている。
適切な対応と取組みを継続して行ってほしい。
コロナ対策も含め、園児一人ひとりを守り、安心、安全な園を保ちつつ頑張ってもらいたい。

3.4の評価結果基準

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である